

動物飼養管理学－1

学科		シラバス(概要)	
コース		主にコンパニオンアニマルとして飼育されている小鳥、ウサギ、ハムスター、モルモット、フェレット、小鳥のほか、の生態や飼育方法を学び、イヌとネコの違いを比較し、その種本来の習性に則した飼育・看護方法に反映することを目的とする。また、日ごろの健康管理について、動物看護師として飼い主に飼育指導できる人材となることを目指す。近年のコンパニオンアニマルの種類多様化に伴い、小動物臨床現場で遭遇する動物種も増加傾向にあり、それぞれの看護対象を正しく理解し扱える動物看護師の需要は高まっていることを知り、日ごろ接することが少ない動物へ関わる入門編として知識を得るようにする。	
履修条件	自律学習修了し理解度確認「振り返り」課題提出した者		
ユニット	高位平準動物看護概論		
科目名	飼養管理学－1		
単位			
履修時間	30時間の中の3時間		
回数	10回中の1回		
授業形態	対面授業		評価方法
作成者			
教科書	動物看護コアテキスト4、動物の行動と健康管理(ファームプレス社)		本講座3時間目に対面学習確認テストを実施する。また、10回目授業時に最終確認テスト(8教科分:五択問題)を受け、60%以上正答の受講者には修了証が発行される。
参考図書			

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	エキゾチックアニマル 授業ガイダンス	1.シラバスとの関係	ペットとして飼われているエキゾチックアニマルについて、イヌ、ネコとの違いを理解し、その生理と生態の違いから適正飼育法を理解する。	
		2.コマ主題	エキゾチックアニマルの定義を知り、飼育上の問題点を考える。	
		3.コマ主題細目	エキゾチックアニマルの定義、飼育上の問題	
		4.コマ主題細目深度	エキゾチックアニマルを飼育する理由、飼育上の問題点、イヌ、ネコとの違い、特異的な生態系、密輸問題、脱走・遺棄による外来種としての問題を理解する	
		5.次コマとの関係	ペットとして飼われているエキゾチックアニマルの代表である、ウサギ、フェレットについて学ぶ。	
2	エキゾチックアニマル ウサギ、フェレット	1.シラバスとの関係	ペットとして飼われているエキゾチックアニマルについて、イヌ、ネコとの違いを理解し、その生理と生態の違いから適正飼育法を理解する。	
		2.コマ主題	ウサギとフェレットの正常と生態を理解し、飼育・看護に活かす。	
		3.コマ主題細目	①ウサギとフェレットの生態と習性 ②生理学的データ ③一般的な飼育方法	
		4.コマ主題細目深度	①ウサギとフェレットの動物界における分類(ペットとして飼育されるウサギの分類)、ペットになる種類、身体的・解剖学的・生理学的特徴、生殖器・繁殖の特徴を知る。②寿命やバイタルサインなどの生理学的データを見て、特徴を覚える。③一般的な飼育方法(入手方法、飼育環境、食事、日常の管理)を知る。	
		5.次コマとの関係	ウサギの各種検査と疾病に進む。	
3	エキゾチックアニマル 小鳥	1.シラバスとの関係	ペットとして飼われているエキゾチックアニマルの主な疾病を理解し、動物病院での診察、検査の補助や看護、飼い主指導に活かす。	
		2.コマ主題	小鳥の検査法と疾病を理解し、飼育・看護に活かす。	
		3.コマ主題細目	①検査・採材方法 ②代表的な疾病とその看護	
		4.コマ主題細目深度	①視診、身体検査、糞便検査、尿検査、血液検査(採血法)について学ぶ。 ②小鳥に多く見られる疾患について知る。	
		5.まとめと確認テスト		